

ひけつ6 明日の情報社会をささえよう じょうほう

(31) 世代、地域、国をこえてつながり合おう（エピローグ）

●テーマの背景、解説

インターネットは、世代、地域、国を超えてつながり合うことができる手段です。未来を担う子どもたちが、インターネットをじょうずに活用することにより、地域に貢献し、社会と関わり合うことができます。

インターネットを通じてつながり合うことにより、子どもたちが将来を見据え、自らが進むべき方向性を見出し、キャリアを積んでいきます。エピローグは、そうした未来予想図を示しています。

●事例等の紹介

総務省

地域情報化の推進 事例紹介

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/ict/jirei/index.html

オルタナティブ・ブログ

SNS 活用事例：卒業しても地域や学校とのつながりを！「おたがいネット」プロジェクト

<http://blogs.itmedia.co.jp/kataoka/2011/02/sns-f4c7.html>

●行動目標、学習目標

| | |
|------|--|
| 行動目標 | ・年齢、地域、国籍などがちがう人とつながり合ってコミュニケーションすることができる。 |
| 学習目標 | ・年齢、地域、国籍などがちがう人とつながり合ってコミュニケーションすることによって、新しい発見があることを学ぶ。 |

●指導案

| 所要時間 | 学習活動 | ファシリテーションの観点からの指導上の注意点 | ネットリテラシーの観点からの指導上の注意点 |
|-----------------|--|--|--|
| 導入① 3分 | ・アニメコンテンツのイントロムービーを見る。 | ・講師が自己紹介する。 ・イントロムービーを見せ、登場人物を紹介し、親近感を持たせる。 ・参加者それぞれの関心、意欲を引き出す。 | |
| 導入② 12分 | ・自己紹介用のワークシートに記入する。 ・グループごとに自己紹介する。 (名前、学年、好きなアニメ、インターネットをどのように使っているか、インターネットにつながる端末は何を使っているかなど) | ・自己紹介用のワークシートに記入させ、参加者に自己紹介させる。 ・双方向のコミュニケーションを行い、参加者それぞれの気づきや経験を元にして話を広げる。 | ・参加者のインターネットについての知識レベルを合わせる。 |
| 導入③ 5分 | ・世代、地域、国をこえてつながり合う事例について、講師の説明を聞く。 | ・学習会の目的を共有して、意識をそろえる。 | ・学習テーマは「世代、地域、国をこえてつながり合おう(エピローグ)」であることを示す。 ・世代、地域、国をこえてつながり合う事例を紹介する。 |
| 展開① 10分 | 【コンテンツを使った学習】 ・「世代、地域、国をこえてつながり合おう(エピローグ)」のアニメコンテンツを見る。 | ・講師が音読する。 ・必要に応じて参加者がアニメの登場人物のせりふを読ませる。 | |
| 展開② 15分 | 【コンテンツの振り返り】 ・設問に答えながら、自分だったらどのように行動するかを考える。 ・どんな選択肢を選んだか、その理由をグループで話し合う。 | ワークシートに記入させる。 | ・世代、地域、国をこえてつながり合うことについて、子どもたちが感じていることを引き出す。 |
| 休憩 (10分) | | | |
| 展開③ 5分 | 【解説】 注意ポイントを学ぶ。 | ・解説ページを確認しながら、学んだことを共有する。 ・解説ページの項目を音読させる。 | ・注意ポイントを解説する。 |
| 展開④ 20分 | 【フリートーク・発表】 ・インターネットで世代、地域、国をこえてつながり合って、何をしたいか、何ができるかを考え、夢を語り合い、発表する。 | | ・インターネットで世代、地域、国をこえてつながり合うことを考えさせる。 |
| まとめ 5分 | 【まとめ・振り返り】 ・日常生活の中で、どのように行動していくかを発表する。 | ・山本家スマホのひけつを確認する。 ・振り返りをする中で、感じたことや気づきを定着させる。 | ・学習したことを日常生活の中で生かすように促す。 ・「ネット社会を生き抜く力ーインターネットを使いこなす6つのひけつ」を予習・復習するように促す。 |

●講師シナリオ案

| テーマ | 講師シナリオ案 | 発問のポイント |
|----------------------|---|--|
| <p>導入① (3分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 皆さん、こんにちは。私は、〇〇です（自己紹介する）。今日は〇〇と呼んでください。よろしくお願いします。 これから「ネット社会を生きる力—インターネットを使いこなす6つのひけつ」という教材を使って学習します。（画面を見てください。「アニメ教材をはじめる」をクリックすると、教材インデックスが表示されます。） 6つのひけつは、「ルールを守ろう」「ネットと上手につきあおう」「自分の身を守ろう」「情報を上手に発信しよう」「コミュニケーション上手になろう」「明日の情報社会をささえよう」に分かれています。今日は、ひけつ6「明日の情報社会をささえよう」の「世代、地域、国をこえてつながり合おう（エピソード）」という教材を使って進めていきます。 ではここで、皆さんと一緒に学習するキャラクターを紹介しましょう。 Dr.山本は、主人公の山本ショウくんの30年後の姿で、科学者になっています。 すとっちは、Dr.山本が生み出したロボットで、時間を行き来することができます。 それでは、イントロムービーを見てみましょう。 今日の学習に登場するのは、山本ミサキさん、ショウくん、タクミくん、ユイさんです。 | <ul style="list-style-type: none"> 教材全体の構成を説明する。 参加者それぞれの関心、意欲を引き出す。 アニメコンテンツの登場人物を紹介し、親近感を与える。 |
| <p>導入② (12分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 次は、みなさんに自己紹介してもらいます。 自己紹介用のワークシートを用意しました。ここに名前、学年、好きなアニメやキャラクター、インターネットをどのように使っているか、何を使ってインターネットにつなげているかなどを記入してください。 また、この学習会で呼んでもらいたい名前を名札に書いてください。（ワークシート記入 2分） 書けましたか？ それでは、自己紹介をお願いします。 | <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介をもとに双方向コミュニケーション。 インターネットとどんな関わり方をしているかを対話しながら引き出す。 |
| <p>導入③ (5分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> さて、最初にお話ししましたが、今日の学習のテーマは「世代、地域、国をこえてつながり合おう（エピソード）」です。 インターネットを使って世代、地域、国をこえてつながり合うことができます。 これから見ていただくアニメーションでは、主人公の子どもたちの10年度を描いています。 ミサキさんは、日本の伝統文化を紹介するサイトを立ち上げ、海外からアクセス数が増えています。 ショウくんは、介護ロボットを開発中です。 タクミくんは、ゲーム制作会社の社長になり、お年寄りのためになる商品を開発しています。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習のテーマを明確にする。 |

ネット社会を生きる力
インターネットを使いこなす6つのひけつ

| | | |
|----------------------|--|--|
| <p>展開① (10分)</p> | <p>【コンテンツを使った学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> • それでは早速アニメを見てみましょう。(アニメコンテンツを見せる。) • 登場人物は、ミサキさん、ショウくん、タクミくん、ユイさんです。 • いかがでしたか？ • 次は皆さんがミサキさん、ショウくん、タクミくん、ユイさんのせりふを読んでみてください。すとっちは私が担当します。 • アニメーションの最後に、選択肢が出てきます。自分だったらどんな行動をとるか、主人公になったつもりで考えてください。 • ワークシートを配ります。ミサキさん、ショウくん、タクミくん、ユイさんにとって、何がよかったのかを記入してください。(ワークシート記入 5分) | <ul style="list-style-type: none"> • 講師が字幕を音読する。 • 参加者がせりふを読み、参加意識を高める。 • ワークシートを配布する。 • 参加者がワークシートに記入しているかどうかを確認する。 |
| <p>展開② (15分)</p> | <p>【コンテンツの振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ミサキさん、ショウくん、タクミくん、ユイさんにとって、何がよかったのだったのでしょうか。一緒に考えてみましょう。 • (3つの選択肢を表示する。) 3つの選択肢はこの通りです。 • 選択肢を選んでください。 • そしてなぜそれを選んだのか、その理由をワークシート2に記入してください。(ワークシート記入 3分) <p>Q 皆さんはどの選択肢を選びましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ①を選んだ人? (挙手) • ②を選んだ人? (挙手) • ③を選んだ人? (挙手) • 意見が分かれましたね。 <p>Q ではまず、①を選択した人の意見を聞いてみましょう。</p> <p>Q ②を選択した人の意見を聞いてみましょう。</p> <p>Q ③を選択した人の意見を聞いてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • この3つの選択肢はどれも正解です。 | <ul style="list-style-type: none"> • どの選択肢を選んだのかを挙手してもらい、尋ねる。 • 子どもの回答に対して、まず受け入れる。 |
| <p>展開③ (5分)</p> | <p>【解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ではここで、今日の学習内容を、解説ページを見ながら整理しておきましょう。 • ①ミサキさん、ユイさんは、日本の伝統文化について情報発信しました。ショウくん、タクミくんは、最先端の技術をお年抛りに生かそうとしました。 • ②ミサキさん、ユイさん、ショウくん、タクミくんは、自分の興味があることを探求して、インターネットを通じて何ができるかを考えたことが、将来の仕事につながりました。 • ③ミサキさん、ユイさん、ショウくん、タクミくんは、インターネットを使うことにより、世代、地域、国をこえてつながり合えることを知りました。 • それでは、解説ページをみなさんに音読してもらいます。 | <ul style="list-style-type: none"> • 解説ページを開く。 • 子どもに音読させる。 |
| <p>展開④ (20分)</p> | <p>【フリートーク・発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次に、インターネットで世代、地域、国をこえてつながり合って、何をしたいか、何ができるかを考えてみましょう。(10分) • それでは、グループに分かれて夢を語り合ってみましょう。 • グループごとに発表してください。(10分) | <ul style="list-style-type: none"> • ワークシートを配布する。 |

ネット社会を生きる力
インターネットを使いこなす6つのひけつ

| | | |
|------------------------------------|---|--|
| <p>まとめ・ 振り返り (5分)</p> | <ul style="list-style-type: none">・皆さん、いろいろな気づきがありましたね。・「ネット社会を生き抜くカーインターネットを使いこなす6つのひけつ」というサイトには、他にもたくさんの教材があります。ひけつのタブをクリックすると項目が次々と出て来ますので、自分一人でも学習することが出来ます。ぜひ試してみてください。・これから皆さんは将来、世代や地域を超えてインターネットを通じて交流し、さらに国を超えてコミュニケーションするようになるでしょう。・今日の学習を生かしてインターネット社会を生き抜いて行ってくれたら嬉しいです。・以上で今日の学習会を終わります。ありがとうございました。 | <ul style="list-style-type: none">・山本家のスマホのひけつを開く。 |
|------------------------------------|---|--|